

法蔵 342号 正月号 (2021年・令和三年)

謹賀新年

昨年は、順信寺に對しましてのお取りもち、心より感謝とお礼申し上げます。

本年も、変わらぬ御指導御鞭撻の程、お願い申し上げます。皆様の一層の御清祥を念じ申し上げ、年頭の御挨拶とさせていただきます。

「まっすぐに生きるべきだと、おもっていた。

間違っていた。ひとは曲がった木のように生きる。

きみは、そのことに気づいていたか？」

(長田弘)

去年は新型コロナウイルスで明け、終ったように思います。今年はこの問題が落ち着いて欲しいと願うばかりです。いつ罹るか分かりません。感染防止対策をしながら、人の交わりを大切に、病気になるっても病人にならない歩みをしたいものです。

今年も「一緒に仏法聴聞ぶつぽうりょうもんして参りたいと思います。よろしく願ひいたします。

2021 (令和三) 年の年忌の御案内

- ◎ 一周忌 2020年 (令和二年) に命終
- ◎ 三回忌 2019年 (平成三十一・令和元年) に命終
- ◎ 七回忌 2015年 (平成二十七年) に命終
- ◎ 十三回忌 2009年 (平成二十一年) に命終
- ◎ 十七回忌 2005年 (平成十七年) に命終
- 二十三回忌 1999年 (平成十一年) に命終
- ◎ 二十五回忌 1997年 (平成九年) に命終
- 二十七回忌 1995年 (平成七年) に命終
- ◎ 三十三回忌 1989年 (昭和六十四・平成元年) に命終
- 三十七回忌 1983年 (昭和六十一年) に命終
- ◎ 五十回忌 1972年 (昭和四十七年) に命終
- 七十回忌 1951年 (昭和二十七年) に命終
- ◎ 百回忌 1922年 (大正十一年) に命終
- ◎ 以後五十年毎

北海道では五十回忌を最後の法事としているようです。そういう意味ではとても大事な法事になると思いますので、今一度お確かめいただき、ご予定をご連絡くださいますようお願い申し上げます。

(注) ◎印が当派 (お東) 所定の年忌ですが、地域によって、○印の年にも年忌を務める場合があります。

* 順信寺の予定 *

・一月一日午前〇時十五分より 「修正会」 新年のおまいりです

・一月十二日(火) 午後一時より 「修正会・定例法話会」

布教使さんは、川原頭師(旭川市 泰巖寺)です。新年のお参りをして、布教使さんのお話を聞きます。今年は新型コロナウイルス感染防止のため新年会は中止させていただきます。御理解賜りますようお願い申し上げます。

・一月二十八日(木) 午後一時より

「親鸞聖人のご命日のおまいり」

・二月十二日(金) 午後〇時より 「定例法話会」

お待ち申し上げます。お話ししてくれる布教使さんは酒井智師(南富良野町 智光寺)です。順信寺では毎月十二日に布教使さんを招いて法話会をしております。どうぞお気軽に聞きに来てください。住職の調理した美味しいカレーライスを是非一度食べてみてください。

「月に一度二時間仏さまのお話しに耳を傾けてみませんか」

・二月二十八日(日) 午後一時より 「親鸞聖人御命日のおまいり」

「あかすりの タオルで取れぬ 欲の皮」

(平成サラリーマン川柳傑作集より)

・毎年三月に定山溪で行われていた「大谷婦人会 春の研修会」も新型コロナウイルス感染防止の為に五月に一日開催で札幌別院にて行われることとなりました。また後日ご案内させて頂きたいと思っております。宜しくお願い致します。

・毎年お正月にカレンダーと一緒に配りしておりました「仏教家庭学校」という本が廃刊になってしまいました。御理解賜りますようお願い申し上げます。

○ 順信寺の御門徒の皆様にお願ひさせていたしております維持費等の件であります。歌登在住の方々の多くは役員さんによりまして「維持費」・「報恩講」・「秋初穂」と年に三回お願いいたしております。その合計を平均しますと、年間に一万五千円程となりますが、実状は、一部の方に高額の御負担をお願いしている状況で、維持費等の設置以来、一度も見直しがされてこなかった内容です。その方々も高齢化し年金受給生活の方が多くなっております。従いまして維持費等のご負担を、なるべく平均化したいという願ひで、役員会におきまして検討が行われてまいりました。

何度も協議を行った結果、平均化を目指すためには、どうしても一部の方には現在より御負担が増えるお願ひしなければならないという事になりました。誠に恐縮の至りですが、該当する方へは、住職が御相談に伺う予定でおります。順信寺の状況を御推察いただき御理解御協力をよろしくお願ひ申し上げます。

また、納骨堂を所有の方には誠に心苦しいのでありますが、お骨の収容施設の管理に関連する法規に則り、納骨堂の会計を新設し、別途に納骨堂維持費をお願いできないかと考えております。いずれも改めて、書面でご連絡をさせていただきます。重ね重ね、誠に恐れ入りますが、御理解御協力の程、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

・忠峰コーナー

「亡き父の 手袋温し 雪掻けり」

「冬の菊 今年も見事 弥陀の前」